

臼杵市 施策評価シート

(令和6年度)

評価 担当課	産業観光課
課名	

コード	IV-10-16	施策名	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化
まちづくりの 目標	魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産業・観光)	施策の方針	社会経済を潤す
5年後の めざす姿	武家屋敷や町家、寺院などが立ち並び、商業と観光の中心である中心市街地の活性化が図られており、商店街、まちづくり会社、行政等が連携した取り組みを進め、まちなか賑わいの創出及び商業経営基盤の強化をめざします。		
施策の課題	商店街地域を含む中心市街地では、店主の高齢化や後継者不足、郊外型大型店舗の進出により、商店街の空洞化が深刻な課題です。特に、商店街エリアでは、住宅兼店舗の老朽化が進み、廃業後の建物取り壊しにより、跡地が駐車場に転用される例も多く、店舗数の減少とともに人通りも少なくなっています。その結果、かつて商店が密集し賑わいをを見せていた商店街の姿は大きく変容し、地域の活力が失われつつあります。また、八町大路火災からの復興に向けた、店舗の再建や商店街の賑いを取り戻すための取り組みが必要となっています。		

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次臼杵市総合計画 後期基本計画>

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	中心市街地の空き店舗の活用数(臼杵地域)【累計】	臼杵地域中心市街地の空き店舗を活用した数	目標	店舗	25	28	33	33	40	
			実績	22	25	28	31	37	44	
			達成率	%	100.0%	100.0%	93.9%	112.1%	110.0%	
	中心市街地の空き店舗の活用数(野津地域)【累計】	野津地域中心市街地の空き店舗を活用した数	目標	店舗	5	6	7	7	8	
			実績	5	5	5	5	5	5	
			達成率	%	100.0%	83.3%	71.4%	71.4%	62.5%	
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	目標							
			実績							
			達成率	%						

臼杵地域における中心市街地の空き店舗の活用数は、計画比110%の達成になりました。R6年度の実績7件のうち、5件については八町大路火災により商業活動が困難になった事業者が空き店舗を活用して営業活動を再開したものです。野津地域においては、空き店舗の出店需要は低く、実績は横ばいです。

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	満足度
検討領域	2.50	1.77	
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域	浸透度		
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討領域	検討領域	検討領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項
			R5年度実績	R6年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度	
1	白杵市空き店舗活用支援事業補助金	産業観光課	3,883	4,824	有	概ね順調	向上	大	○
2	サーラ・デ・うすき管理・運営事業	産業観光課	12,376	13,662	有	概ね順調	強化	中	
3	商店街活性化事業補助金	産業観光課	1,200	1,200	無	—	—	—	
4	中心市街地活性化事業補助金	産業観光課	6,211	6,211	無	—	—	—	
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計			23,670	25,897	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

施策の評価（今後の施策の方向性）

評価の選択肢 ○ 向上 .. 現状の通り維持向上する ○ 強化.. 現状より強化を図る  
 ○ 見直し .. 現状を見直し適正化を図る ○ 検討.. 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>...評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
向上	今後も事業者の高齢化に伴い、廃業の増加が想定されるため、空き店舗化を未然に防ぐ対策が喫緊の課題です。そのためには、商店街関係者や地域支援機関との連携を強化し、早期からの事業承継支援や創業支援を通じて、後継者や新規事業者の確保に繋げることが求められます。また、空き店舗化した物件に関しては、空き店舗バンクへの登録を促し、次の活用事業者への流れを途切れさせないよう周知を図り、中心市街地の賑わい創出に繋げる必要があります。